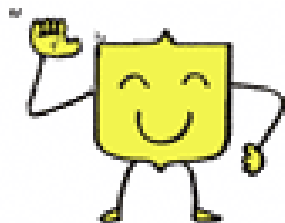


令和5年度 学校関係者評価委員会 学校自己評価アンケート考察



今年度のアンケート

- ・保護者がiPadを持ち帰り、オンラインで実施
(一部、環境により紙媒体提出分を再入力)
- ・昨年度の「学校関係者評価委員会」の提言を受けて、「校内学校自己評価委員会」で質問項目の順序の変更を検討(年度比較のため、文章表現の修正は行わない)
- ・保護者と教職員の比較できる質問・・・22項目
- ・学校経営目標との関連を明確化

今年度の回答率

【教職員回答率】

全体・・・ 119人中 117人 98.3%

【保護者回答率】

全体・・・ 251人中 212人 84.5%

Web回答・・・ 166人 78.3%

結果の考察

- 全ての項目で、「1 よくあてはまる」「2 ややあてはまる」が90%以上
- 「3 ややあてはまらない」「4 あてはまらない」があった項目について、分析し考察
- 「2 ややあてはまる」があった項目にも着目
- 昨年度と比較して、高評価に差が見られた項目について考察
- 保護者と教職員の回答を比較し、開きがあるものについて分析し、考察
- 自由記述について考察し、回答を発表

回答の特徴

保護者

- すべての項目で「1 よくあてはまる」「2 ややあてはまる」の高評価が90%以上
- 「1 よくあてはまる」が60%以上が14項目。「2 ややあてはまる」はすべて45%以下
- 昨年度と比較して高評価の回答が減少している項目が19項目。22項目すべて、低評価の回答があった
- 自由記述が26件(昨年度は30件、一昨年度は40件)

教職員

- すべての項目で「1 よくあてはまる」「2 ややあてはまる」の高評価が90%以上
- 「1 よくあてはまる」が60%以上が4項目。「2 ややあてはまる」が60%以上が2項目
- 昨年度と比較して高評価の回答が増加している項目が14項目。そのうち1項目は15%増加。
- 自由記述が18件(昨年度は20件、一昨年度は29件)

昨年度比で高い項目

保護者

- 14 「関係機関との連携」
(+0.6%)
- 19 「自分でできる力」
(+0.3%)

昨年度も今年度も全ての項目が90%を超え、ほとんどの項目が95%以上

教職員

- 10 「文化、芸術、自然に触れる機会」(+15%)
- 22 「学年間・学部間の引き継ぎ」(+4.3%)
- 24 「ワークライフバランスを重視した業務の効率化」(+4%)

重点課題として取り組んだ結果

特に評価の高かった項目

保護者

- 7 「個人情報の保護」
(99.1%)
- 16 「『個別の指導計画』の目標設定」
(98.6%)
- 17 「『個別の指導計画』への評価、課題についての記載」(98.2%)

教職員

- 7 「個人情報の保護」
(100%)
- 8 「児童生徒の変化に応じた誠意ある対応」
(99.1%)
- 14 「関係機関との連携」
(98.3%)
- 15 「広報活動の充実」
(98.3%)
- 5 「人権を意識した関わり」
(98.3%)

評価の低かった項目

保護者

- 1 「学校生活の充実」
(93.4%)
- 13 「地域とつながる学習の
機会の設定」
(93.4%)
- 14 「関係機関との連携」
(94.3%)

教職員

- 22 「学年間・学部間の引き
継ぎ」(90%)
- 24 「ワークライフバランスを
重視した業務の効率化」
(91.4%)
- 10 「文化・芸術・自然に触
れる機会の設定」
(92.3%)

すべて昨年度と同じ項目。今後もさらに課題として取り組んでいく

すべて昨年度比では高評価が増加。取組の成果は表れている

保護者と教職員の回答に差があった項目

- 1 「学校生活の充実」
(保護者93.4% 教職員98.2% ▲4.8%)
- 22 「学年間・学部間移行時の引き継ぎ」
(保護者94.8% 教職員90% 4.8%)
- 17 「『個別の指導計画』への記載」
(保護者98.2% 教職員93.6% 4.6%)
- 14 「関係機関との連携」
(保護者94.3% 教職員98.3% ▲4%)

昨年度は、10%以上の開きがあった項目が2つあったが
今年度は開きは少なくなっている

保護者の意見から

- いつも温かいご指導を頂き感謝しています。
- いろいろなことができるようになり、理解力も少しずつ伸びていると感じています。
- たくさんの先生方と、守られた環境下で、その子らしく生きていけることに、親子ともに幸せを感じています。
- 本人がとても楽しそうに通えて先生方には感謝です。
- 子供に対して、どんな対応が良いのかいつも考えてくださり、感謝しています。
- 毎日の連絡帳に一日の様子が書いてあって、よくわかります。

保護者の意見から

- ・ 居住地校交流は保護者がついて行かなくても現地にて参加できるようにしてほしい。仕事をしていると、参観日や通院で休みを取るのので付添はできないから。
- ・ バザーなど文化的な活動も年々と簡素化されていると感じています。コロナ禍で様々な活動が制限されましたが、地域との交流の一つの行事として、将来の社会参加へのとりくみとしてとらえてほしいと感じています。
- ・ 地域や他校と交流を、年間を通してあまり行われていないように思います。
- ・ PTA活動ももう少し考慮したものにしてほしい。
- ・ PTA活動について保護者に任せ過ぎていると思う。
- ・ 保護者や関係機関と、実際どこまで連携がとれているか分からない。
- ・ あまりICT機器を使ったと聞いたことがない。
- ・ 新入学なので、学年間・学部間の移行をしていないから、まったくあてはまらないにしました。(2)
- ・ 教員と子供との間に信頼関係が出来にくくなっているように思える。ゆえに、子供が本心を言えずにいる。どんなに些細な事でも言える、聞いてあげられる、寄り添った教育を心がけてほしいです。

保護者の意見から

- ・ 学年違いの子とのトラブルの解決に時間がかかり過ぎる。相手に対して反省する事や謝らせる機会を与えないのは、今後改善して欲しいです。
人間関係の悩みは尽きないと思いますが、嫌なら無視やブロックでは何も解決しません。謝ったり相手の気持ちを知った上で、その後の対策法としてやっぱりこの人とは上手く関われないと感じた時の無視やブロックという手段だと思います。
- ・ 卒業アルバムの検討を今一度お願いします。保護者間でも生徒間でも納得がいくものになっていないように感じます。
- ・ 回答を選べない項目もあるので、各問への回答に「わからない」等の選択肢もあると回答しやすいです。
- ・ 「任された仕事や役割を最後まで行う力」について、その日の気分が多く関わってくるので難しいので、今はまだあまり伸びているように感じませんでした。

保護者の声への対応

・居住地校交流は保護者がついて行かなくても現地にて参加できるようにしてほしい。仕事をしていると、参観日や通院で休みを取るので付添はできないから。

・あまりICT機器を使ったと聞いたことがない。

→居住地校交流については、保護者の方に一緒に参加していただくことも目的の一つと考えています。お忙しいこととは思いますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

→授業では、調べ学習や学習の記録を残すためにICT機器を使用しています。生徒同士の話し合い活動の時に、自分の好きなものや気になったこと等を画像で示して自分の思いを伝える一助としても活用します。学習アプリを使用して個別課題に取り組んだり、実態に合わせてコミュニケーションツールの1つとしてVOCAアプリを用いて意思表示ツールとして活用することもあります。今後も指導方法を工夫し、学習効果を高め活用する機会をこれまで以上に増やし、保護者の方にも活動の様子をお知らせしていきたいと思っております。

保護者の声への対応

・教員と子供との間に信頼関係ができにくくなっているように思える。子供が本心を言えずにいる。どんなに些細な事でも言える、聞いてあげられる、寄り添った教育を心がけて欲しい。

・学年違いの子とのトラブルの解決に時間がかかり過ぎる。人間関係の悩みは尽きないと思いますが嫌なら無視やブロックでは何も解決しません。謝ったり相手の気持ちを知った上で、その後の対策法としてやっぱりこの人とは上手く関われないと感じた時の手段だと思っています。

→日頃から児童生徒との信頼関係が築けるような、言葉かけや関りを大切にしたいと思います。さらに、定期的に教育相談の時間を設定することで、少しでも悩みや不安を打ち明けられたらと考えています。担任団だけではなく、必要に応じて学年外教員も対応できるようにしています。

→トラブルへの対応では、関係生徒から慎重に事情を聞き取り、職員で情報を共有して、必要に応じて個別指導、全体指導をしていきます。SNS等でのトラブルについては警察等、関係機関の協力を得ながら定期的、段階的に学習できるようにしています。保護者の方とも合意形成の基、指導をしていきますのでご協力をお願いします。

保護者の声への対応

・朝起きることができず学校を休むことが多いため、高校3年間通学するという(本人にとっての)「仕事」を最後まで行えていないと思う。

→将来の姿をイメージして、本校在学中に体調管理や生活習慣について、着実に積み上げていけたらと考えます。


・卒業アルバムの検討を今一度お願いします。保護者間でも生徒間でも納得がいくものになっていないように感じます。

→卒業アルバムについては入学説明会や学校全体のお便りでもお伝えしていますが、高等部では作成していません。肖像権の関係や作成に伴う費用面等検討を重ねた結果、現実的ではないため、行事等の様子につきましては、学年通信等に掲載させてもらっています。

保護者の声への対応

- 地域や他校と交流を、年間を通してあまり行われていない様に思います。
- バザーなど文化的な活動も年々と簡素化されていると感じています。地域との交流のひとつでもあり、将来の社会参加のひとつのとりくみとしてとらえて欲しいと感じています。

- PTA活動ももう少し考慮したものにしてほしい。
- PTA活動について保護者に任せ過ぎていると思う。



→バザーについての地域の方々への参加の呼びかけについては、各部で検討しているところですが、現在のバザーの様子では、接客や商品の準備等で、保護者の方々に制限した対応が適切と考えています。バザーの日以外に、地域へ出ていく販売活動や、地域の方々に来ていただく販売活動などを今後入れていくことも検討していきます。以前に比べて地域とつながる活動は増えてきていますが、発信不足の面もあると思いますので、今後はさらに地域とつながる活動を広げていくとともに、取組についての発信も充実させていきたいと思っています。

→PTA活動については、保護者の方もお忙しい中、無理のない範囲で活動できるように検討していきます。教職員もPTA会員なので、夏季休業中の清掃作業や夏祭りには保護者の方と一緒に教職員も活動に参加しています。

保護者の声への対応

- ・実際どこまで連携がとれているか分からない。
- ・高等部からの入学なので、学年間・学部間の移行をしていないから、まったくあてはまらないにしました。
- ・回答を選べない項目もあるので、各間に「わからない」等の選択肢もあると回答しやすいです。

→移行時の連携情報が不足していて「わからない」ことについては、「便り」やHP等の広報活動を充実していきます。

アンケートの回答全て必須回答としているので回答しにくいという意見が複数ありました。全てに「わからない」を入れると集中してしまう傾向があるため、項目によって、「※『わからない』方は、無回答としてください」という注釈を入れるなど、来年度に向けて検討します。

今後の取組について

- 本日の学校関係者評価委員会において、アンケート結果の分析・考察や改善策の適切さについて委員の皆様の評価を受ける。
- 「学校評価書」を作成し、県教委に報告する。
- 保護者宛文書を配付する。
- ホームページで地域へ公表する。

